

米の需給と価格安定対策に関する緊急要望

平成26年産米の米価は、食の多様化や高齢化に伴う米消費の減少や過剰在庫による供給圧力により、全国的に大幅に下落しており、今後も米価の回復は期待しがたい厳しい状況にあります。

加えて、本県における26年産コシヒカリの概算金は、60kg 9千円で前年産より2千7百円下落しており、過去最低の水準で決定されております。

このような極端な米価の下落は、稲作を中心として生計を立てている農家の経営を直撃し、深刻な影響及び不安を与えております。特に地域営農の中心となるべき大規模経営体などへの影響は、極めて大きなものがあります。

つきましては、稲作経営の安定化及び体質強化が図られるよう下記事項について、特段の措置を講じるよう要望します。

記

- 1 平成26年産米については、生産者が安定的な営農を継続できるよう、収入減少影響緩和対策（ナラシ対策）及び移行のための円滑化対策について、国が補てんする仕組みとするなど、制度の改善を図るとともに、本年産米に係る大幅な収入減少にも対応できるよう必要な財源を確保し、適切な措置を早急に講じること。
- 2 ナラシ対策及び円滑化対策に係る交付金の交付時期が、生産年の翌年5月から6月頃となるため、農家の資金繰りに支障を来たすことがないよう概算払い若しくは交付時期の前倒しなど、早期の支払いを実施すること。

3 過剰米の主食用市場からの隔離対策として、（公社）米穀安定供給確保支援機構への「過剰米対策基金」活用の働きかけ及び政府主導による政府備蓄米の柔軟な買入・売渡の実施などを早急に講じること。

4 米の需要拡大を一層図るとともに、需給バランスのギャップによって価格が低迷しないよう、米需給見通しの策定や主食用米から需要のある非主食用米への生産誘導を図ること。

また、中食・外食等の多様なニーズに応じた安定的な生産と流通の一層の推進など、国の責任において、需給調整を行うこと。

平成26年11月28日

農林水産大臣 西 川 公 也 様（他）

千葉県市長会長 志 賀 直 温

千葉県町村会長 岩 田 利 雄